

2022年11月30日

重大海難事故を想定した緊急事態対応訓練を実施

～カーフェリー「さんふらわあ ふらの」の大洗港内における座礁事故を想定～

商船三井フェリー株式会社（社長：尾本直俊、本社：東京都千代田区）は、11月29日、重大海難事故に備えた緊急事態対応体制の確認を目的として、当社船「さんふらわあ ふらの」が大洗港内にて座礁した想定で緊急事態対応訓練を実施しました。

事故想定：

当社船「さんふらわあ ふらの」が、大洗港出港後に突風に流され港内の浅瀬に座礁。座礁時の衝撃で乗客4名が海中に転落し行方不明となり、乗客及び乗組員9名が船内で負傷してしまう。行方不明者については、その後2名が無事保護されたが、残り2名が依然として行方不明という想定とした。

訓練内容：

当該事故発生時の連絡を受け、社内に非常対策本部を設置し、座礁事故発生から記者会見に至るまでの過程を訓練することで、緊急時に行うべきプロセスを再確認した。また、実際に同様の事故が起こった場合の対応について協議した上で、模擬記者会見を実施した。

当社の使命は、お客様とお預かりした貨物を安全・確実に目的地にお届けすることです。今回の訓練で見つかった課題を改善し社内で共有することにより、今後もより一層安全運航の徹底に努めます。



非常対策本部での訓練の様子



模擬記者会見の様子①



模擬記者会見の様子②

以上